茨城工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	ドイツ語

科目基礎情報

科目番号	0075	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	国際創造工学科　機械・制御系(制御コース)	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材	未定（決まり次第連絡します）		
担当教員	長田 詳平		

到達目標

ドイツ語のアルファベットの読み方から始めて、初級の文法を習得し、初歩的な会話、短い文章読解ができるようになる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	ドイツ語の初級文法が十分理解できる。	ドイツ語の初級文法がだいぶ理解できる。	ドイツ語の初級文法がほとんど理解できない。
評価項目2	ドイツ語の初歩的な会話が十分できる。	ドイツ語の初歩的な会話が十分だいぶできる。	ドイツ語の初歩的な会話がほとんどできない。
評価項目3	ドイツ語についての理解がかなり深まった。	ドイツ語についての理解が少し深まった。	ドイツ語についての理解がまったく深まらなかった。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)

教育方法等

概要	基本的な文法事項を簡単な会話や文章などを通して学習しつつ、ドイツ語およびドイツ文化に慣れ親しむことを目的とする。またドイツ語の発音と文字の対応に慣れるため、定期的に行われる小テストでは主にディクテーションを行う予定です。後期ではライティング活動も予定しています。
授業の進め方・方法	皆さんのドイツ語およびドイツ語圏のイメージとはどういうものでしょうか？ざっくり英語の仲間なのかな？という認識がある人もいるかもしれません。それは半分正解で半分間違いで、実はある文法的側面では英語よりむしろ日本語と似ている言語でもあります。この授業では、1年かけて皆さんにとってドイツ語を身近な言語のひとつにしていきたいと思っています。そして、ドイツ語の知識を深めていく過程で英語や日本語など身近にある言語との相対化を図り、それら言語の理解も同時に深めていければ、と思っています。文法事項はしっかり押さえつつ、その定着のために、感染対策に気を配りながら、ペアワークなども積極的に行う予定です。
注意点	

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション／第１課①	アルファベットと発音（ローマ字読みできるものとできないもの）
		2週	第１課②	動詞の現在形規則変化（ich / Sie）
		3週	第１課③	動詞の位置
		4週	第１課④	疑問文
		5週	第２課①	3人称単数
		6週	第２課②	動詞の現在形不規則変化
		7週	中間試験	
		8週	第２課③	テスト返却・数字の数え方
	2ndQ	9週	第３課①	曜日
		10週	第３課②	人称代名詞の複数形(wir / ihr / sie)
		11週	第３課③	動詞の現在人称変化まとめ
		12週	第４課①	名詞の性別・複数形
		13週	第４課②	格（不定冠詞と定冠詞の1格）
		14週	第４課③	格（人称代名詞格の1格）
		15週	期末試験	
		16週		テスト返却と前期のまとめ
後期	3rdQ	1週	第４課④	大きな数字の読み方
		2週	第５課①	格（不定冠詞の4格）
		3週	第５課②	否定冠詞keinの1・4格
		4週	第５課③	助動詞mo¨chteの用法
		5週	第５課④	並列の接続詞
		6週	中間試験	
		7週	第６課①	テスト返却・応答詞ja / nein / doch
		8週	第６課②	格（定冠詞の4格）
	4thQ	9週	第６課③	「～がある」 findenとes gibt
		10週	第６課④	無冠詞
		11週	助動詞	wollen / mu¨ssen
		12週	ライティング	自己紹介をドイツ語でする。
		13週	文法総まとめ(i)	文法復習と演習問題

		14週	文法総まとめ(ii)	文法復習と演習問題
		15週	期末試験	
		16週		テスト返却と1年のまとめ

評価割合

	試験	課題・小テスト	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0